

Q & A

質問・意見	回答
(名称変更の経緯について)	
<p>さっさと決めてしまったという印象があるが、なぜこのタイミングなのか。</p> <p>名称変更はなぜ2020年なのか。</p> <p>今回の名称変更も都知事の意向というように見えるがこれで良いのか。</p> <p>名称変更について、学生や教員、卒業生に対してどのような説明や意見聴取がされたのか。</p> <p>これまで名称変更について議論されてきたことはあるのか。</p>	<p>名称変更には都議会の議決が必要で、法人の意思だけでは決められませんが、7月12日に都政改革本部会議があり、小池都知事の発言を機に、名称変更の検討を進めることといたしました。</p> <p>首都大学東京としての14年間の教育研究活動は根付いており、その成果は受験生や研究者には十分周知されていますが、一般都民や他県の方には十分に認知されていないという問題意識を抱える中で、法人として本件の決定をいたしました。2020年は、手続きを最短で行った場合の年度です。</p> <p>教員の意見収集は教育研究審議会の中で行いました。時間が限られ部分的でしたが、学生の意見も聴取できました。同窓会とは直ちにコンタクト等を取り、同窓会長から直接意見を聞きましたが、卒業生、修了生には意見聴取できませんでした。大学院生にも意見を細かく聴く機会を持てませんでした。お詫びいたします。</p> <p>これまでの議論の中で、都立の学校であることを強調するという観点で、印刷物の記載に「都立」と付記することや、通称名として「都立首都大学」としてはどうか等の議論がありました。これらの議論は今回の名称変更とは意味が違っていると認識しています。また、前理事長が退任の際に、小池都知事に対して個人的な意見として校名変更をしてはどうかと伝えたことは聞いています。</p>
<p>小池都知事から東京都立大学という名が出たのか。</p> <p>東京都立大学以外の候補の名前があったのか。</p> <p>首都大学東京になった当時は、どのような意見があったのか。</p>	<p>7月12日の会議の場で小池都知事から、「ブランディングには大学の名称を変えるようなドラスティックなことも必要なのではないか、たとえば、今は駅名にしか残っていないけれども、東京都立大学という名前も大学の体を表すのにいい名称ではないかと思う。」という意見がありました。小池都知事から「東京都立大学」という具体的な名称が出されていたこともあり、他の候補名は検討しておりません。</p> <p>平成16年2月に名称を公募した結果を参考に「首都大学東京」と決定した旨を、当時の石原都知事が記者会見にて発表したと記録に残っています。応募件数が全体で4,047点あり、多かった名称が上位から「都立総合大学」「大江戸大学」「首都大学」であり、首都大学東京と命名されました。当時も「東京都立大学」を希望する意見が一番多かったのですが、新しい名称にするという前提の公募だったということで、東京都立大学は除かれたと聞いています。</p>
<p>都立大学を廃止して首都大学東京を作った時に、様々な問題があったこと、それら全て東京都側に責任があることをどのように考えるのか。</p>	<p>2005年に4つの大学を統合し、これまでにない新しい大学を作っていくということで「首都大学東京」と名付けて開学しました。</p> <p>当時様々な困難に直面してきた事実も残っていますが、大学が発展するにつれ、一つの大学としての一体感が全ての構成員によって醸成されるようになり、新しい大学として心を合わせ、教育、研究、社会貢献、様々な領域において不断の努力を重ね、本学は着実に発展を遂げてきています。</p> <p>大学改革も含め、この歴史、実績は否定されるものではないと考えています。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(名称変更に係る検討期間について)	
<p>7月12日の都政改革本部会議のときの都知事の提案の一言で、たった1か月で、こんなに簡単に大学名を変更するという決定に至るといのはとても信じられない。</p> <p>学生の方からアンケートを募ってという話もしていたが、一部の学生の声と教員の声を聞いたというだけで、十分な議論をなされたといっているのか。あまりにもスピード感を優先しすぎではないか、十分な議論がなされているとは思えない。</p>	<p>7月12日の小池都知事の発言を発端に、大学・法人で本格的な検討に入ったのは事実ですが、認知度の向上は以前より大学・法人の中で議論になっていました。</p> <p>2年に一度調査している学生生活実態調査では、大学に改善してほしいことの1位は常に「大学の知名度、大学名」となっており、認知度向上は大学の開学以来、法人の大きな課題とずっと認識していました。</p> <p>ブランディング戦略や都との更なる連携をこれから強化していかなければいけない中で、様々な努力をしてきましたが、大学の名称は大学単独では変えることはできず、今回、東京都から認知度向上の一つの手段として名称変更の提案もあり、これらを念頭に入れて検討しました。</p> <p>この間、学生、教職員、同窓会等から可能な限りの意見を聴取してきました。1か月という検討期間では十分ではないのではないかなど、さまざまな意見がありましたが、一刻も早く東京都立大学という名前に変更を望む学生の意見等々もあり、10月の文部科学省への事前相談、東京都への予算要求などを考えると、最短で名前を変えるとすればこのタイミングでの決定が必要であり、8月24日に法人として大学名の変更手続きに入る方針を決定しました。</p> <p>今後、都民の代表である東京都議会において定款変更の議論があり、認められれば東京都立大学として名称が変更されると認識しています。</p> <p>きちんとした議論の時間がほしいという意見は、経営審議会に大学から責任を持って伝えました。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(意見の集約について)	
<p>名称変更についての説明は何だったが、変更に関する学内における意思決定が十分であると考えているか。</p> <p>直接意見を募る機会があっても良かったのではないか。</p>	<p>教員については教育研究審議会であらかじめ予告し、各部局の意見を聴取しました。部局によりますが、広く教員の意見を聞いた部局や、学科長、学部長補佐の意見をまとめて話したところもありましたが、全ての部局が教育研究審議会の場でそれぞれの部局の意見を表明しました。その結果、多くの部局で東京都立大学への変更を賛同する意見が多かったとのことでした。</p> <p>学生の意見はもちろん両論ありましたが、自治会が主催したアンケートでは、約65%が東京都立大学に変更することを是とする意見でした。</p> <p>構成員の意見をなるべくしっかり聞くことについて、副学長、学長補佐、部局長とも議論を重ねながらベストを尽くしたつもりです。</p>
<p>学生団体のアンケート調査に何名の学生が参加したのか。またそれは全学生の何割か。参加した学生全員が違うという証明はできないのではないか。</p> <p>大学自体の方が、学生全員に意見を問うような、何か手続きをすべきではなかったのか。</p> <p>学生大会を1度開くべきだとの意見もあったと伺ったがどう考えるか。</p> <p>学内の団体は上部団体の所属団体以外にも非加盟の団体があるので、今後、そちらの意見を取り入れると共に非加盟の団体についてもフォローをしていただきたい。</p>	<p>学生関係団体の6団体連名で学長に会いたい、意見を聴いてほしいとの要望があり、8月17日に会うことにいたしました。</p> <p>その際、自治会を中心としたアンケート調査結果の報告と、学生でしっかり学生大会などで集まって意見を集約する、あるいは色々な意見を出す時間的ゆとりがほしいという要望を受けました。</p> <p>アンケートは、実施した学生によると2,345名に対して行い、約65%が東京都立大学の名称に賛成しているもので、本学の学生が約9,000名とすると、アンケートの回答数は概ね1/3程度と考えています。googleフォームでアンケート調査したデータの信頼性などについては、学生の代表者と会った時に一応確かめましたが、そういうことを前提に報告が学生団体からあったことを経営審議会に伝えました。</p> <p>一方、名称変更については、学生を全員集めて賛否を取って決するような問題ではないと考えています。今後、学内の非加盟の団体等も含め、フォローをしていきたいと考えています。</p> <p>経営審議会で学生にはこういう強い意見があることは責任を持って伝えました。そのことも含めて経営審議会での審議を踏まえ、理事長が決定したと考えています。</p>
<p>反対意見もあるようだが、法人としてこの議論を白紙に戻す可能性はあるのか。</p>	<p>今回の学生アンケート実施以前にも、学生生活実態調査などの調査も行っています。この中でも知名度改善を望む声は強く、法人としても課題として認識してきました。今回の決定は、これらを踏まえた判断であり、白紙に戻す可能性はありません。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(知名度について)	
<p>都立大に2020年以降から変えて、例えば10年後、2030年に知名度が上がったかどうか、効果測定をきちんと考えていただきたい。効果測定で効果がきちんと出るように広報等をきちんとやっていただきたい。</p>	<p>名前を変えただけで知名度が上がるとは考えておりません。むしろ名前が変わると、昔の都立大学のイメージを持っている人が親しみを持つことはありますが、現在、首都大学東京しか知らない年代もかなりいますので、その部分で知名度は下がります。</p> <p>従って、今後は教育研究活動の充実はもちろんのこと、広報も今まで以上に実施すべく、ブランディング戦略、あるいは大学の中でも新しい広報戦略を進め、東京都立大学の知名度向上に努めていきます。</p> <p>学生、教職員一丸となって作り上げてきた大学の実績がありますので、名称変更と併せてこれからさらに努力をして、国内外に知られるように努めてまいります。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(学生・卒業生・教職員について)	
<p>在学時に東京都立大学に名称変更になると現行の学生証などは全部変更になるのか。</p> <p>旧都立大卒業生は現在、証明書等に東京都立大学は首都大学東京に移管されたということが記載されているが、2020年4月以降はその文言はどうなるのか。</p> <p>首都大学東京の校歌が東京都立大学になった際にどういった形になるのか。</p>	<p>2020年4月1日から名前が変わり、学生証も変わります。</p> <p>今回の場合は名称変更ですが、前回は前の東京都立大学はなくなり、移管されています。従って、今後は移管している大学名が変わったという表示になるので、元の大学は首都大学東京に移管され、移管された大学が名称を変更したことが分かるような記載を今後考えてまいります。</p> <p>校歌については、まだこれから検討するところですが、十何年間続いてきた校歌なので、できるだけ現在の形を残したいと考えており、名前が変わったイコール校歌を全部変えてしまうとは考えておりません。</p>
<p>都立大から首都大になったと同時に公務員から法人職員になったが、名称変更されても、公務員にはならないのか。</p> <p>名称変更していく事務手続きの増加を考えると、予算や人員補充をきちんと要求してほしい。</p>	<p>この度は名称変更のみなので、法人職員のままで、公務員になることはありません。</p> <p>名称変更により事務手続きの増加は当然生じるので、今回特別措置も含めて、予算・人員については精査して、必要などころに必要な人員・予算を付けられるように全力で取り組んでまいります。</p>
<p>私立大学が東京都立大学に類似した名前に変更されているので、今更、東京都立大学になったところで、両大学の違いが、都外の人などに理解できるのか。</p>	<p>現在は首都大学東京が私立大学・専門学校に間違われるという意見もあります。また、東京都立大学に変えると、かえって私立大学に間違えられるという意見もあろうかと思われます。</p> <p>ただ今回の名称変更の目的は、そもそも都立、東京都が設立した大学であることを明確にするためであり、小池都知事からも東京都立大学はどうかとの提案があったため、この名称への変更を検討し、方針を決定したものです。</p> <p>私立大学等との名称類似については問題ないと考えています。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(学部等について)	
<p>学部名はそのまま維持されるのか。</p> <p>前の都立大時代にあったような昼夜開講制を新設するなど検討しているのか。</p>	<p>学部名はこれまでと全く変更はありません。</p> <p>首都大学東京の名前が変わるだけですので、カリキュラム等も全く変更になりません。</p> <p>昼夜開講も行う予定はありません。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(名称変更後の大学のあり方について)	
<p>今回、本件の報道等を見ていると、都立大が復活するというような文言があり、どうしても首都大学東京として歩んできた十数年間を黒歴史というような印象を受けてしまう。今回こういう形で首都大学東京の名称を、あまりにも短い期間で変えてしまうという結論に至ったというのは憤りを感じる。</p> <p>今後は新しい大学になるのだという点をより一層発信していただきたい。</p>	<p>首都大学東京の名前が変わってさらに発展していく決意を強くしており、復活とか元に戻ることを考えたことはありません。より一層の発信をするべく、大学の関係者で心をつにし、首都大学東京として根付いてきた実績を、名称変更を経て、更に質の高い教育研究へ発展できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>学生の広報チームの努力など、首都大学東京の知名度を上げるために、これまでも一生懸命に取り組んできたつもりです。引き続き、名前が変わっても、本学の優秀な教育研究成果を外に出していくべく努力してまいります。</p>
<p>「大学の名称を変えるだけ」という発言があったにも関わらず、都との連携を強化するとか、都政への還元なども同時に謳われていて、それについて矛盾を感じる。大学の自主性を損なうようなこともあるのではないか。</p> <p>校名変更に際し、教育研究上、新たな取り組み等の計画があるのか。</p>	<p>本学は、東京都の財政によって支えられておりますが、学問や研究や教育の独自性は言うまでもなく非常に大事なことで、研究の内容や質の高い教育の循環を、しっかりこの大学に定着させることは、大学としての責務です。良い研究をしている先生をみて、良い学生がついてくれていることこそ大学の根幹だと考えています。</p> <p>ただし、東京都政上の課題についての研究的な協力要請や、ビジネススクールでの東京都職員の受け入れなど、様々な都政の課題についての貢献、東京都の先端課題への研究的な貢献は、本学のいくつかある使命のうちの非常に重要な一つだと考えています。</p> <p>東京都立大学という名前に変わることで、もっと本学が東京都の様々な政策課題・研究課題にしっかり対応しているという姿勢を見せやすくすることができると考えています。</p> <p>また、現在名称変更に伴うイベント等は考えていませんが、良いアイデアがあればご提案をいただきたいと考えています。</p>
<p>Tokyo Metropolitan University の英語名に変更はあるのか。</p> <p>企業とか海外に向けもっと積極的にアナウンスする、アプローチするということに対して、具体的な案や構想を表明してほしい。</p>	<p>英語名の変更は考えていません。</p> <p>国際的なプレゼンスの向上については、国際化行動計画等に基づき、様々な取り組みを行っていますが、海外、それから就職先の企業等々に対する認知度向上の努力は続けていきたいと考えています。</p> <p>差し当たっては、法人に広報戦略のプロジェクトチームを立ち上げており、大学の中だけでなく、企業広報等の専門家の御意見も入れながら、どうやって本学の認知度を上げていくか検討を始めており、引き続き皆様の意見も聴きながら進めてまいります。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(説明会等について)	
<p>今回の説明会は夏休み中の在校生や、卒業生に対する周知期間を考えると急な展開であるが、この経緯について教えてほしい。</p> <p>開催の時間帯が平日昼ということ、人が来にくい時間帯に設定するのはいかがか。都知事や理事長が来る説明会を、丁寧に、複数回実施すべきだと思うが、そちらは検討してもらえるか。</p>	<p>この問題に関する経営審議会が招集されたのは8月22日で、24日に理事長が決定し東京都に伝え、その日の小池都知事の定例記者会見で本件の発言がありました。新聞など報道がなされる中で、大学として、経緯についてまずは学生や教員、関係者に直接説明する必要があるとの学長からの指示により、急遽27日に南大沢、日野、荒川の各キャンパスで説明会を開催しました。</p> <p>夏休み中の平日昼、しかも急遽という形で説明会を開催したため、周知されていない部分等もあったので、説明会を重ねて実施するように調整し、決定次第、速やかに連絡します。</p> <p>特に卒業生、修了生へのケアを最優先にすることは当初から考えており、今後、もっと参加しやすいタイミングで説明会を行いたいと考えてます。同窓会報やホームページなど様々な手段を利用して今回の件について情報提供をすると同時に、丁寧に説明し、色々な意見をいただきたいと考えています。</p>
<p>様々な経緯や話し合いを学内共有してほしい。</p> <p>相談体制を整えるということはもちろんとして、もっとより具体的に、プロジェクトチームや委員会を新たに立ち上げるなど、1年半しかないわけだから、それまでに完璧な準備態勢を整えて、あたるべきではないか。</p>	<p>今後、様々な話し合いの結果や決定事項の学内情報共有については、学生、教員、職員に、出来るだけ早急に情報が伝わるように心掛け、相談する機会をこれからも持ちたいと考えています。率直に色々意見や質問をこれからもいただき、真剣に、真摯に対応するつもりです。</p> <p>プロジェクトチームや委員会など様々なことにこれから対処しなければなりません。事務的には今回名称変更に係る費用的なものも含めて色々検討の必要があり、大学内部に、調査依頼を出しているところですが、学生の皆様からも意見を聴く機会を必ず設けますので、忌憚のない意見を聴かせてもらえればと考えています。</p>

Q & A

質問・意見	回答
(首都大学東京への思いについて)	
<p>ツイッターの意見に卒業生が笑いものにされているものがあった。首都大学東京に入って、勉強をして、卒業をして、それがそんなに笑われるほどに、悪いことだったか教えてほしい。</p> <p>ここで学んだ誇りを踏みにじられたという気持ちが卒業生のなかでいっぱいある。</p> <p>これまで首都大学の発展を支えてきた多くの人たちの努力などは何も考えていないということが私の印象で、首都大学の歴史が埋もれてしまうというのが、先々のことを考えると明らかだと思う。</p> <p>学生内でも意見が分裂している。今回の騒動をきっかけに、学生教職員がこれ以上激しく内部分裂しないように大学側としてしっかり対応してもらいたい。</p>	<p>首都大学東京で25,000人の卒業生・修了生を出している学長として、この問題で初めて発言を許されたときに「首都大学東京として25,000人の卒業生・修了生を出している。我々は2005年以降、全教職員・学生が心を合わせて、一流の大学に更に飛躍するために全力を尽くしています、全力を尽くしてきました。これからも全力を尽くすつもりです。」ということを真っ先に申し上げました。</p> <p>今一番言いたいことは、この大学を作ってくれた、一緒に汗をかいてくれた、戦ってくれた皆さんへの心からの敬意であります。</p> <p>首都大学東京という名前が埋没してしまうのではと我々も当初から心配していましたし、非常に心を痛めています。首都大学東京という名前がなくなってしまうことは非常に残念だと思っています。修了生、卒業生には不利益変更になると考えており、それに対して、できるだけ影響を少なくするためにあらゆる手段をとっていきたいと思います。</p> <p>今回、首都大学東京のままであつたほうが良いという意見もたくさんありました。その意見をお持ちの人達は、首都大学東京に誇りを持ってこれまで勉強されてきた人、あるいは、教職員は首都大学東京の発展に尽力してきた人達で、誇りを持っていると思います。</p> <p>今後もずっと首都大学東京に誇りを持ちながら、首都大学東京という名前が消えないように、東京都立大学に変わった後も、ずっと受け継いでいきたいと思っています。</p> <p>首都大学東京の教員としてこの14年間、一生懸命首都大学東京を盛り立て、教育研究において一流の大学にするために打ちうる手段はすべて打とうと頑張ってきました。</p> <p>4つの大学も、当時は文化の違いも相当ありましたが、全員が心を合わせて1つの大学として一生懸命前に進もうと14年間やってきたつもりです。</p> <p>大学名の変更は、大学の構成員の自主的な意思の発意で決められたものではなく、大学構成員の意見は多様でした。それらをなるべく正確に経営審議会に伝えることにベストを尽くしてきました。そのような経緯はありますが、大学を更に飛躍させるために、是非皆さん一緒に頑張ってください。私も先頭に立って、色々な批判があると思うが、逃げないで真正面から向かい合っ取り組んでいきたいと決意しています。〈学長〉</p>

※本Q & Aは、2018年8月27日に南大沢・日野・荒川各キャンパスで開催された大学名称に関する説明会での質疑を元に作成したものです。今後、開催される説明会での質疑も反映して随時更新してまいります。